

国土数值情報(浸水想定区域)

製品仕様書

第 1.1 版

平成 25 年 3 月

国土交通省国土政策局

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2012 年 3 月	初版
第 1.1 版	2013 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水想定区域クラスの主題属性「備考 1_1」・「備考 1_2」・「備考 1_3」・「備考 2_1」・「備考 2_2」・「備考 2_3」・「備考 3_1」・「備考 3_2」・「備考 3_3」を削除し「備考」へ統合した。 ・上記の変更に伴い、クラス図及び応用スキーマ文書、付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧及び、付属資料-2 符号化仕様の XML schema を修正した。

目次

1 概覧	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報	1
1.2 目的	1
1.3 適用範囲	1
1.4 引用規格	2
1.5 用語と定義	2
1.6 略語	2
1.7 参考資料	2
2 適用範囲	3
2.1 適用範囲識別	3
2.2 階層レベル	3
3 データ製品識別	3
3.1 製品仕様識別	3
4 データ内容および構造	4
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書	4
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ	4
4.1.2 指定地域パッケージ	5
4.1.3 浸水想定区域パッケージ	6
4.2 空間スキーマプロファイル	11
4.3 時間スキーマプロファイル	11
5 参照系	12
5.1 座標参照系	12
5.2 時間参照系	12
6 データ品質	12
7 データ製品配布	15
7.1 配布書式情報	15
7.2 配布媒体情報	15
8 メタデータ	16
9 その他	16
付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧	19
付属資料-2 符号化仕様	20

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名:国土数値情報(浸水想定区域)製品仕様書 第 1.1 版
- 日付:2013 年 3 月 15 日
- 作成者:国土交通省 国土政策局 国土情報課
- 言語:日本語
- 分野:指定地域
- 文書書式:PDF

1.2 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本製品仕様書に基づく地理空間データ製品は、浸水想定区域をデータベース化し公開することにより、豪雨による浸水等の災害に対する被害状況把握や避難計画、損害予測等に資することを目的とする。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
全国
- 時間範囲
仕様書による

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS)第 2.1 版 平成 21 年 5 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS)第 2.1 版「附属書 5(規定) 定義」

- 国土交通省国土政策局 GIS ホームページ ガイダンス

URL: <http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/guidance/index.html>

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL: <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報(浸水想定区域)製品仕様書第 1.1 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報(浸水想定区域)データ

■ 日付

2013 年 3 月 15 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土政策局 国土情報課

電話 : 03-5253-8111 FAX: 03-5253-1569

Email : nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

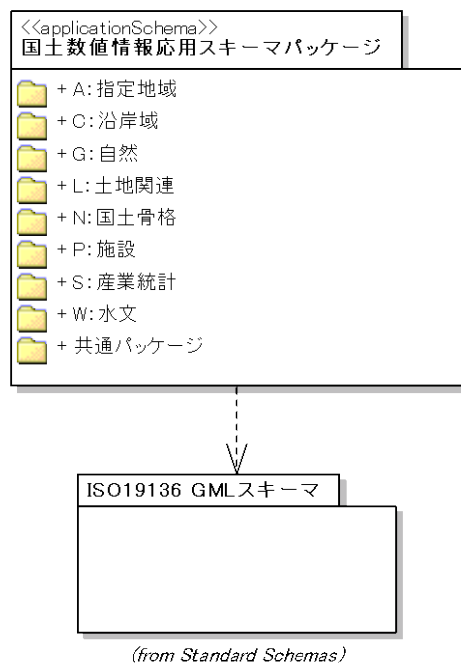
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 指定地域パッケージ

このパッケージは、指定地域に関するパッケージをまとめたものである。

<<applicationSchema>> A02-a: 指定地域3次メッシュ	<<applicationSchema>> A02-b: 指定地域細分メッシュ	<<applicationSchema>> A03: 三大都市圏計画区域	
<<applicationSchema>> A05: 森林・国有地メッシュ	<<applicationSchema>> A07: リゾート法指定地域	<<applicationSchema>> A09: 都市地域	
<<applicationSchema>> A10: 自然公園地域(H18)	<<applicationSchema>> A11: 自然保全地域	<<applicationSchema>> A12: 農業地域	<<applicationSchema>> A13: 森林地域
<<applicationSchema>> A15: 鳥獣保護区域	<<applicationSchema>> A16: 人口集中地区	<<applicationSchema>> A17: 過疎地域	<<applicationSchema>> A18: 半島振興対策実施地域
<<applicationSchema>> A19: 離島振興対策実施地域	<<applicationSchema>> A20: 奄美群島	<<applicationSchema>> A21: 小笠原諸島	<<applicationSchema>> A22: 豪雪地帯
<<applicationSchema>> A23: 特殊土地帯	<<applicationSchema>> A24: 振興山村	<<applicationSchema>> A25: 特定農山村地域	<<applicationSchema>> A26: 土砂災害危険箇所
<<applicationSchema>> A27: 小学校区	<<applicationSchema>> A28: 世界自然遺産	<<applicationSchema>> A10(H22): 自然公園地域	<<applicationSchema>> A31: 浸水想定区域

4.1.3 浸水想定区域パッケージ

このパッケージは、浸水想定区域に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図

<<Feature>> 浸水想定区域		<<CodeList>> 浸水深ランクコード	
範囲	: GM_Surface	0~0.5m未満(5段階)	= 11
浸水深	: 浸水深ランクコード	0.5~1.0m未満(5段階)	= 12
作成種別	: 作成種別コード	1.0~2.0m未満(5段階)	= 13
作成主体	: CharacterString	2.0~5.0m未満(5段階)	= 14
指定年月日	: CharacterString	5.0m以上(5段階)	= 15
告示番号	: CharacterString	0~0.5m未満(7段階)	= 21
対象となる河川	: CharacterString	0.5~1.0m未満(7段階)	= 22
指定の前提となる計画降雨	: CharacterString	1.0~2.0m未満(7段階)	= 23
関係市町村	: CharacterString	2.0~3.0m未満(7段階)	= 24
備考	: CharacterString	3.0~4.0m未満(7段階)	= 25
		4.0~5.0m未満(7段階)	= 26
		5.0m以上(7段階)	= 27

<<CodeList>> 作成種別コード			
北海道 = 1	富山県 = 16	鳥取県 = 31	鹿児島県 = 46
青森県 = 2	石川県 = 17	島根県 = 32	沖縄県 = 47
岩手県 = 3	福井県 = 18	岡山県 = 33	北海道開発局 = 81
宮城県 = 4	山梨県 = 19	広島県 = 34	東北地方整備局 = 82
秋田県 = 5	長野県 = 20	山口県 = 35	関東地方整備局 = 83
山形県 = 6	岐阜県 = 21	徳島県 = 36	北陸地方整備局 = 84
福島県 = 7	静岡県 = 22	香川県 = 37	中部地方整備局 = 85
茨城県 = 8	愛知県 = 23	愛媛県 = 38	近畿地方整備局 = 86
栃木県 = 9	三重県 = 24	高知県 = 39	中国地方整備局 = 87
群馬県 = 10	滋賀県 = 25	福岡県 = 40	四国地方整備局 = 88
埼玉県 = 11	京都府 = 26	佐賀県 = 41	九州地方整備局 = 89
千葉県 = 12	大阪府 = 27	長崎県 = 42	沖縄総合事務局 = 90
東京都 = 13	兵庫県 = 28	熊本県 = 43	
神奈川県 = 14	奈良県 = 29	大分県 = 44	
新潟県 = 15	和歌山県 = 30	宮崎県 = 45	

4.1.3.2 応用スキーマ文書

浸水想定区域

浸水想定区域は、国や県が洪水予報河川や水位周知河川に指定した河川において、計画の対象となる降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域をいい、水防法第 14 条の規定に基づき指定された区域である。

上位クラス:

抽象/具象区分: 具象

属性

範囲: GM_Surface

浸水想定区域の範囲。

浸水深: 浸水深ランクコード

当該浸水想定区域図に示されている浸水深から、得られた浸水深のランクコード。

■ 取得基準

原典資料に記載されている浸水深から、CodeList「浸水深ランクコード」を参照し、浸水深ランクコードを取得する。

一般的に、浸水深は標準パターンと細分パターンに分けられる。標準パターンでは、5段階のランク区分となっているため、浸水深ランクコードは 11 から 15 までの値を取得する。一方細分パターンでは、標準パターンの 2.0~5.0m を細分化した 7 段階のランク区分となっているため、浸水深ランクコードは 21 から 27 までの値を取得する。すなわち、同じ 0.5m 以上 1.0m 未満でも標準パターンの場合は 12 を取得し、細分パターンの場合は 22 を取得することになる。

例) 庄内川浸水想定区域図の場合

標準パターンのため、11 から 17 までの値を取得する。

■ 定義域

11~27 のいずれか。各値は以下を参照。

コード	対応する内容	
11	5段階	0～0.5m未満
12		0.5～1.0m未満
13		1.0～2.0m未満
14		2.0～5.0m未満
15		5.0m以上
21	7段階	0～0.5m未満
22		0.5～1.0m未満
23		1.0～2.0m未満
24		2.0～3.0m未満
25		3.0～4.0m未満
26		4.0～5.0m未満
27		5.0m以上

作成種別：作成種別コード

当該浸水想定区域図を作成した自治体が属する都道府県と、対象となる河川の水系を主管する地方整備局等の番号。

■ 定義域

1～90のいずれか。各値は以下を参照。

コード	対応する内容	コード	対応する内容
1	北海道	31	鳥取県
2	青森県	32	島根県
3	岩手県	33	岡山県
4	宮城県	34	広島県
5	秋田県	35	山口県
6	山形県	36	徳島県
7	福島県	37	香川県
8	茨城県	38	愛媛県
9	栃木県	39	高知県
10	群馬県	40	福岡県
11	埼玉県	41	佐賀県
12	千葉県	42	長崎県
13	東京都	43	熊本県
14	神奈川県	44	大分県
15	新潟県	45	宮崎県
16	富山県	46	鹿児島県
17	石川県	47	沖縄県
18	福井県	81	北海道開発局
19	山梨県	82	東北地方整備局
20	長野県	83	関東地方整備局
21	岐阜県	84	北陸地方整備局
22	静岡県	85	中部地方整備局
23	愛知県	86	近畿地方整備局
24	三重県	87	中国地方整備局
25	滋賀県	88	四国地方整備局
26	京都府	89	九州地方整備局
27	大阪府	90	沖縄総合事務局
28	兵庫県		
29	奈良県		
30	和歌山県		

作成主体:CharacterString

当該浸水想定区域図を作成した機関名。

例)庄内川浸水想定区域図の場合

国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所

■ 取得基準

原典資料に記載されている作成主体を取得する。

■ 定義域

原典資料に記載されている文字列

指定年月日:CharacterString

当該浸水想定区域を指定した年月日。

■ 取得基準

原典資料に記載されている指定年月日を取得する。

例)庄内川浸水想定区域図の場合

平成 19 年 8 月 29 日

■ 定義域

原典資料に記載されている文字列

告示番号:CharacterString

当該浸水想定区域を告示した際の告示番号。

■ 取得基準

原典資料に記載されている告示番号を取得する。

例)庄内川浸水想定区域図の場合

国土交通省中部地方整備局告示第 77 号

■ 定義域

原典資料に記載されている文字列

対象となる河川:CharacterString

当該浸水想定区域の指定の対象となる河川の名称と実施区間。

■ 取得基準

原典資料に記載されている河川の名称や実施区間を取得する。

例)庄内川浸水想定区域図の場合

庄内川水系庄内川(実施区間:左岸:岐阜県土岐市肥田町浅野字トチモト 807 番の 3 地先三共橋
から海まで、右岸:岐阜県土岐市泉町河合字中屋敷 532 番 1 地先三共橋から海まで)

■ 定義域

原典資料に記載されている文字列

指定の前提となる計画降雨: CharacterString

当該浸水想定区域の指定の前提となる計画降雨。

■ 取得基準

原典資料に記載されている計画降雨を取得する。

例) 庄内川浸水想定区域図の場合

〇〇川流域の△日間総雨量 × × mm という記載がない。このため、説明文に記載されている「概ね 200 年に 1 回程度(岐阜県区間は、概ね 100 年に 1 回程度)起こる大雨」を取得する。

■ 定義域

原典資料に記載されている文字列

関係市町村: CharacterString

当該浸水想定区域に関する市区町村名。

■ 取得基準

原典資料に記載されている市町村名を取得する。この際、告示後市町村合併が行われている場合は、最新の市町村名とする。

例) 庄内川浸水想定区域図の場合

「名古屋市、春日井市、小牧市、清須市、北名古屋市、豊山町、春日町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、多治見市、土岐市」を取得する。しかしこのうち、清須市と春日町が合併し「清須市」、七宝町と美和町と甚目寺町が合併し「あま市」となった。このため、上記は「名古屋市、春日井市、小牧市、清須市、北名古屋市、豊山町、あま市、大治町、蟹江町、多治見市、土岐市」を取得する。

■ 定義域

原典資料に記載されている文字列、必要に応じて合併情報

備考: CharacterString

浸水想定区域図の説明、浸水想定区域図を作成した際のシミュレーションの条件及び浸水想定区域図を利用する上での注意事項。

■ 定義域

原典資料に記載されている文字列

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS)第 2.1 版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS)第 2.1 版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子:JGD2000 / (B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子:GC/JST

6 データ品質

品質要素・副要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料と対応関係がとれないデータが存在すれば、それを過剰なデータとカウントする。
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査
適合品質水準	過剰なデータの数 0 個

品質要素・副要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合内に原典資料と対応するデータが存在しない場合、それをデータの漏れとカウントする。
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査
適合品質水準	データの漏れの数 0 個

品質要素・副要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形式となっていない箇所(XML 文書の構文として正しくない箇所)の割合を計算する。
データ品質評価手法	XML パーサによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

品質要素・副要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合を計算する。

データ品質評価手法	XMLバリデータによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

品質要素・副要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>地物属性インスタンスの値が、応用スキーマが規定する定義域の範囲外にある場合にエラーとしてその個数を数え、その割合を計算する。以下の場合にエラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間属性及び時間属性が、適用範囲内に含まれない場合。 ・コードリストで表される主題属性の値が、定義されたコードリストの値に含まれない場合。 ・列挙型で表される主題属性の値が、定義された列挙値の値に含まれない場合。 <p>誤率(%)=(定義域の範囲外にある値を持つ地物属性の数 / 地物属性の総数)* 100</p>
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

品質要素・副要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>地物インスタンスが、閉じていない場合にエラーとしてその個数を数え、その割合を計算する。以下の場合にエラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地物インスタンスの起終点が一致せず閉じていない場合。 <p>誤率(%)=(エラー地物の数 / 地物属性の総数)* 100</p>
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

品質要素・副要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>隣接地物インスタンス同士が、交差するもしくは離れている場合にエラーとしてその個数を数え、その割合を計算する。以下の場合にエラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接地物インスタンス同士が、交差している場合。 ・隣接地物インスタンス同士の間が、離れている場合。 <p>誤率(%)=(エラー地物の数 / 地物属性の総数)* 100</p>
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

品質要素・副要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物インスタンスが、自己交差している場合にエラーとしてその個数を数え、その割合を計算する。以下の場合にエラーとする。 ・地物インスタンスを構成するラインが、自己交差している場合。 誤率(%)=(エラー地物の数 / 地物属性の総数)* 100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

品質要素・副要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物と数値地図 25000(地図画像)を重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定する。
データ品質評価手法	全数検査
適合品質水準	実寸 25m 以内

品質要素・副要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	非定量的地物属性を原典資料と比較し、原典資料に記載されている内容と一致しない地物の割合を算出する。 誤率(%)=(内容が一致しない地物属性の数 / 地物属性の総数)* 100
データ品質評価手法	全数検査
適合品質水準	誤率 0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12(規定)地理マーク付け言語 (GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/

国土数値情報(浸水想定区域)応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XMLSchema については付属資料を参照のこと。

名前空間:<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞:ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語を使用する。

7.2 配布媒体情報

■ 単位

全国

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス(JPGIS 準拠データ)

URL: <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、JMP2.0を採用する。

9 その他

国土数值情報(浸水想定区域)製品仕様書第 1.1 版

付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
指定地域					
	A31 浸水想定区域				
	浸水想定区域			ExpectedFloodArea	expected flood area
		範囲	GM_Surface	bounds	bounds
		浸水深	浸水深ランクコード	waterDepth	water depth
		作成種別	作成種別コード	creatingType	creating type
		作成主体	CharacterString	creatingBody	creating Body
		指定年月日	CharacterString	designatedDate	designated date
		告示番号	CharacterString	announcementNumber	announcement Number
		対象となる河川	CharacterString	targetRiver	target river
		指定の前提となる計画降雨	CharacterString	designedStorm	designed storm
		関係市町村	CharacterString	municipalGovernments	municipal governments
	備考	CharacterString	remarks	remarks	

付属資料-2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema targetNamespace="http://nftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:ksj="http://nftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2"
xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
elementFormDefault="qualified" version="1.0">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.xsd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="ExpectedFloodArea" type="ksj:ExpectedFloodAreaType" substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="ExpectedFloodAreaType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>浸水想定区域</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
        <xsd:sequence>
          <xsd:element name="bounds" type="gml:SurfacePropertyType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>範囲</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="waterDepth" type="ksj:waterDepthType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>浸水深</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="creatingType" type="ksj:creatingTypeCodeType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>作成種別</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="creatingBody" type="xsd:string">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>作成主体</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="designatedDate" type="xsd:string">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>指定年月日</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
        </xsd:sequence>
      </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
  </xsd:complexType>

```



```

</xsd:element>
<xsd:element name="announcementNumber" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>告示番号</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="targetRiver" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>対象となる河川</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="designedStorm" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>指定の前提となる計画降雨</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="municipalGovernments" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>関係市町村</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="remarks" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>備考</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="ExpectedFloodAreaPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:ExpectedFloodArea"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="ExpectedFloodAreaMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:ExpectedFloodArea"/>
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="creatingTypeCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>作成種別コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:creatingTypeCodeEnumType ksj:creatingTypeCodeOtherType"/>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="creatingTypeCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
  </xsd:enumeration>
  <xsd:annotation>

```

```

<xsd:appinfo>
  <gml:description>北海道</gml:description>
</xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="2">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>青森県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="3">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>岩手県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="4">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>宮城県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="5">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>秋田県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="6">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>山形県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="7">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>福島県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="8">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>茨城県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="9">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>

```

```

    <gml:description>栃木県</gml:description>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="10">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>群馬県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="11">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>埼玉県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="12">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>千葉県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="13">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>東京都</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="14">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>神奈川県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="15">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>新潟県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="16">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>富山県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="17">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>石川県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>

```

```

</xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="18">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>福井県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="19">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>山梨県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="20">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>長野県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="21">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>岐阜県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="22">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>静岡県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="23">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>愛知県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="24">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>三重県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="25">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>滋賀県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>

```

```

</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="26">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>京都府</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="27">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>大阪府</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="28">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>兵庫県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="29">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>奈良県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="30">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>和歌山県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="31">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>鳥取県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="32">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>島根県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="33">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>岡山県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>

```

```

</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="34">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>広島県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="35">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>山口県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="36">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>徳島県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="37">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>香川県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="38">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>愛媛県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="39">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>高知県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="40">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>福岡県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="41">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>佐賀県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>

```

```
<xsd:enumeration value="42">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>長崎県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="43">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>熊本県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="44">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>大分県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="45">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>宮崎県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="46">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>鹿児島県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="47">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>沖縄県</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="81">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>北海道開発局</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="82">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>東北地方整備局</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="83">
```

```

<xsd:annotation>
  <xsd:appinfo>
    <gml:description>関東地方整備局</gml:description>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="84">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>北陸地方整備局</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="85">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>中部地方整備局</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="86">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>近畿地方整備局</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="87">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>中国地方整備局</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="88">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>四国地方整備局</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="89">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>九州地方整備局</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="90">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>沖縄総合事務局</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

```



```

<xsd:simpleType name="creatingTypeCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="waterDepthType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>浸水深ランクコード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj:waterDepthEnumType ksj:waterDepthOtherType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="waterDepthEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="11">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>0?0.5m未満(5段階)</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="12">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>0.5?1.0m未満(5段階)</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="13">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>1.0?2.0m未満(5段階)</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="14">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>2.0?5.0m未満(5段階)</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="15">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>5.0m以上(5段階)</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="21">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>0?0.5m未満(7段階)</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="22">
      <xsd:annotation>

```

```

    <xsd:appinfo>
      <gml:description>0.5?1.0m未滿(7 段階)</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="23">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>1.0?2.0m未滿(7 段階)</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="24">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>2.0?3.0m未滿(7 段階)</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="25">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>3.0?4.0m未滿(7 段階)</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="26">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>4.0?5.0m未滿(7 段階)</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="27">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>5.0m以上(7 段階)</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="waterDepthOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2}"/>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
</xsd:schema>

```